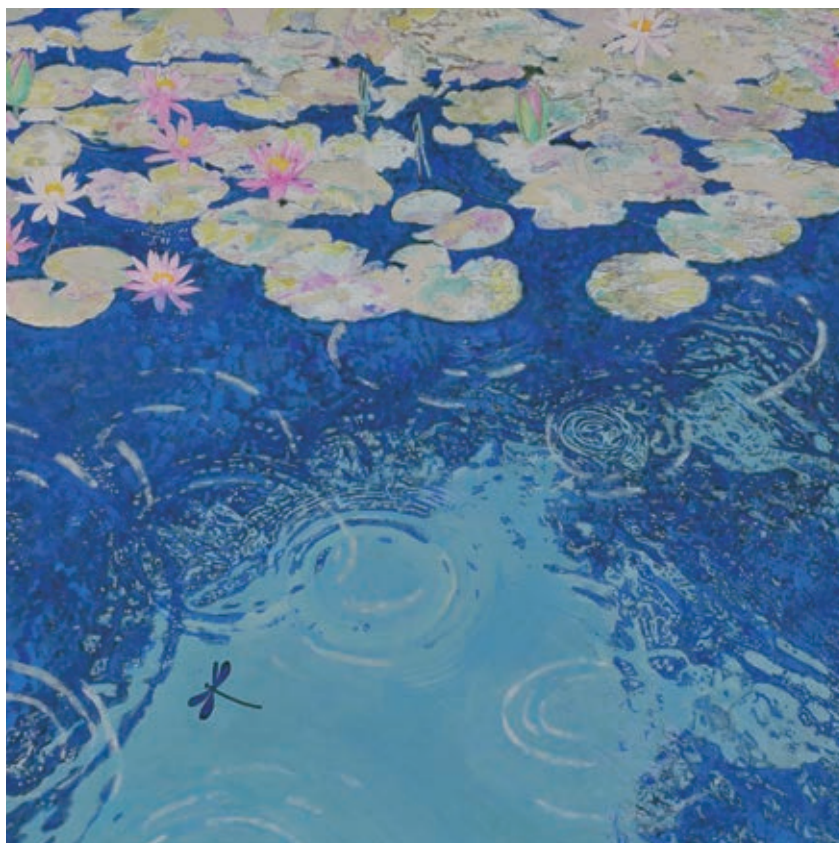


SL エスエル 医療グループ ニュース

No.170 2025.8

発行所 名古屋市中区新栄町1-3 エスエル医療グループ 編集部(鈴木・大野・吉田・玉井・森川・金子) 発行日 2025年8月1日



「雨音」
颯田圭子氏

今月のことば

5月初旬、飲食店を訪ねて、面白い名前の美味な刺身を食しましたので、紹介したいと思います。

「アブラボウズ」と呼ばれる魚で、その名の通り、脂ののった濃厚な味の刺身でした。

アブラボウズは深海魚で体長は成長すると1.5m前後となり、北太平洋の水深400mの深海に生息し、海中深くに生息する為、体の約40%が脂肪分であるとされています。

超高級魚とされるクエには及ばないものの、アブラボウズもまた高級魚として認知され、脂の乗った甘みのある白身に価値が見出されています。

近年、我が国の漁獲量は1984年をピークに減少しており、海水温の上昇等で、従来の漁獲量の確保が難しくなっています。私たち庶民の食卓に温暖化の影響が現れ始めており、真剣に温暖化対策を行う時が来ているようです。

(K.S)

〈目次〉

今月のことば	1
思い出の留学	2～3
……古井脳神経外科 院長 古井倫士	
じんじん響く腎のはなし	
高血圧性腎硬化症とは	4
……さかもと内科腎クリニック 院長 坂本いずみ	
ご挨拶	5
……森川クリニック 院長 岡田 久	
HPV ワクチンキャッチアップ接種狂騒曲	6
……すぎやまレディスクリニック 院長 杉山正子	
2025年夏期休診一覧	7
栄(SL医療グループ) 近辺—48—	8
活字(文章)中毒	
……森川クリニック 名誉院長 森川建基	

思い出の留学

古井脳神経外科 院長 古井倫士



文化は江戸時代のように鎖国していても発達しうるもので、そのほうが独自性が発揮できてかえって価値の高まる場合もあるが、文明は外界の情報を遮断しては容易に進歩しない。文明の基礎となる科学の一分野である医学も例外ではなく、ふるくは中国王朝、戦前はドイツ、戦後はアメリカというように、それぞれから知識や技術を吸収して発達してきた。そこには多くの留学生の努力があった。

ビタミン（B1）を発見した鈴木梅太郎、血清療法を開発した北里柴三郎、人工的に癌を発生させた山極勝三郎、などわが国が誇る医学者たちもかりである。彼らは当時としてはもっとも先進であったドイツ医学を学び、それを基礎に医学の発達に貢献するのである。いったいいつのころから日本人が知識を求めて国外に渡ったのであろうか。

大和政権は国家を統治する先進の制度を学ぶべく、推古天皇の時代に使節を派遣する。最初の派遣は紀元600年で、都合4回にわたって遣隋使が海を渡る。舒明天皇の時代には隋にとって替わった唐に使節団が送られる。紀元630年を初回とする遣唐使である。

『日本書紀』にはちょうどその替わりめに当たる西暦623年のできごととして「...新羅、大使奈末智洗爾を遣し...是の時に、大唐の学問僧恵齊・恵光及び医恵日・福因等...従ひて来...」という記述がなされている。つまり、新羅の使者に従って恵日と福因というふたりの医師が帰国したというのである。

同じく『日本書紀』には、608年に小野妹子を大使として3回目の遣隋使が派遣された折「...唐の国に遣す学生...学問僧...あがでて并て八人なり...」とあり、列記される4名の（留）学生の中に倭漢直福因という名前が見つかることができる。これが623年に帰国した医（師）のひとり、福因である。彼は留学の名にふさわしく学問のため15年間も隋に留まっていたこ

とになる。

恵日はいつ渡航したか記録にはない。ただ、『続記』によれば医学を修めた功によって薬師の姓を称号として与えられたというから、福因と同じように相当の歳月を外地で過ごしたのだろう。彼はこののち630年、さらには645年にも遣唐使として渡航を重ねる。

『日本書紀』によって語られるこれらの記述から、福因と恵日というふたりがわが国における最初の医学留学生であるとされ、多くの歴史の成書にもそのように記載されている。

ただ、彼らはわれわれが獺と思う日本人ではない。恵日は百済を経て高句麗から、福因はそのフルネームから想像されるように漢からそれぞれ、渡来した帰化人あるいはその末裔だと考えられる。彼らがどのような経緯で留学生に選ばれたか分らないが、ひとつには隋や唐の言語に対する素養の高さが考慮されたからかもしれない。

彼らが帰化人であるとする、なんとなく釈然としない気分が残る。時代は少し下るけれども、わが国における最古の医学書として遣る『医心方』を撰述した（982年）とされる丹波康頼も福因と同じように漢からの帰化人の末裔であるといわれている。わが国最初の留学生というのなら、もっと生粋の日本人について探してみべきではないのかという気持ちになるのだ。

いまの日本人も大半が縄文人と渡来系の弥生人の混血らしいから、福因や恵日が渡来系の人物であったという点にあまり固執すべきでないという意見もありそうなのだが、それでも猶、倭人に固執するとどうなるのか。

律令制度の施行細則の集大成として平安時代は10世紀に『延喜式』が編纂され、そのなか遣唐使の構成員に関する記述があつて、技手として陰陽師や医師を同行するものとされている。一行の安全を支えるのが彼らの役割であつて、留学生のそれとは異なるのだが、もし現

地で医学に関する未知の知識に触れたとすれば、それらに無関心ではいられなかったであろう。ただ、実際には『延喜式』の定められるまえの894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣は廃止され、大陸との正式な交流が途絶えてしまった。その後は戦乱に明け暮れる武士の世が続いたのち厳格な鎖国政策をとる江戸時代に移る。

生粋の邦人留学生を探すのは明治維新以降でなければ無理な宿題なのかと諦めながら医学史の本を幾冊か繰っていき奇妙な記載を見つけた。

江戸時代初期である。漢方医学に固執せず、1609年の長崎は平戸、1641年からは出島を介する蘭学が向学の徒の知識欲を駆り立てるようになった時代、鳩野宗巴（はたのそうは、後年に中島長三郎から改姓）という人物がいた。彼は万治元年（1658年）に母国に帰国するオランダ人について蘭方医学を学ぶべく渡欧したというのだ。大友宗麟によるローマ教皇への少年使節派遣が1582年、同じく伊達政宗による支倉常長らの派遣が1613年であるからオランダへの渡海が物理的に不可能というわけではなく、ありうる話である。

寛永8年（1641年）長崎生まれで渡航時17～18歳であった宗巴は5年間の留学を経て帰国するとその造詣を買われて熊本藩に招聘され、末代までの地位を築くことになったという。

ただ、この時代は禁教令をもとにオランダ人以外の西洋人の入国は無論のこと邦人の出国も厳しく制限されており、彼の行いは密出国であったことになる。長崎における医学史の研究者・古賀十二郎氏によれば末裔の八世・鳩野宗巴が秘匿されていた初代の行状を明治24年ごろ公に唱え始めたという。

これが本当なら凄まじい心構えの人物がいたことになるのだが、古賀氏によると渡航の事実を示す確たる史料は八代目の書留め以外にないという。たとえ出国できたとしても、人知れず

入国して獲得した医学知識を披露する機会を得たというのは確かに出来過ぎの感がある。真偽のほどは歴史の常として曖昧模糊の内ということらしい。

筆者も若かりし頃、アメリカに留学というか遊学したことがある。変動相場に移行してもまだ1ドルが250円の時代であった。現代ならさして珍しくない渡米に親戚や友人が空港まで見送りに出向いてくれた憶えがある。

知人の手助けで現地にアパートを借りたが、スマホは無論のことケータイもない時代であったから家族との連絡のため固定電話を引く必要があった。そこで、おそらく書類でも提出するのだろうと思いながら最寄りの電話局に行った。すると、係員は部屋の隅にある電話機を指差して「そこから申し込め」という。

電話では手振り身振りの効果が発揮できないし、そもそも電話口の相手は異邦人への斟酌を欠いた早口なので何を言っているか見当がつかない。ただただ途方に暮れた記憶である。それでもなぜか電話は引けた。若さゆえの怖いもの知らずの留学であった。ただ、正規の出国で密入国でもなかった。



じんじん響く腎のはなし

高血圧性腎硬化症とは

さかもと内科腎クリニック 院長 坂本 いずみ



【高血圧を放っておくとどうなりますか？】

腎臓は細い血管がたくさん集まってできていて、高血圧によって傷つきやすい臓器です。高血圧を放置すると血管が硬く細くなる動脈硬化がじわじわと進行します。それにより腎臓の正常な構造が壊れてしまうと、やがては透析が必要な腎障害をおこします。高齢社会を迎えて、高血圧性腎硬化症は年々増加しており、透析導入の原因としては糖尿病性腎症に次いで第2位となっています。

【高血圧性腎硬化症とは？】

腎臓では、枝分かれして徐々に細くなる血管に大量に血液が流れ込み、最後に細い毛細血管でできた糸球体でろ過されます。1日で100リットルほどの原尿を糸球体でこし出した後、尿細管で体に必要な水分とミネラルを再吸収し、不要なものだけを1-2リットルの尿として排泄します。もともと強い血圧をかけて水と老廃物を絞り出す仕組みですが、あまりにも強い圧がかかると腎臓の細胞は傷ついて壊れ、やがて糸球体はしばんで硬化してしまいます。これが高血圧性腎硬化症です。正常に働く糸球体が少なくなると、尿が十分に作れず血液中に老廃物がたまってきます。この病気は長い時間をかけてゆっくり進行するので、診断されたときには血圧が高くないこともあります。このような人は、過去の高血圧や加齢などが影響していると考えられます。診断は、病歴（これまでの生活や生活習慣病の経過）や身体所見、血液検査、尿検査、腹部超音波やCTなどの画像診断の結果から総合的にを行います。高血圧性腎硬化症では腎臓の働きは少しずつ悪くなることが多く、かなり悪化するまで自覚症状はありません。

【治療は？ 血圧は高すぎにも低すぎにも注意！】

血圧を適正に維持することが大切です。血圧が高いと蛋白尿が多くなり、腎障害の進行が速くなります。年齢、蛋白尿の有無、糖尿病の有無により目標血圧が異なります。患者さんによって病状は様々なので、脳梗塞や心疾患など他の病気がある方は、担当の医師にご自身の目標血圧を確認してください。

他の腎疾患の場合に比べると、腎硬化症の患者さんは、血圧の下がりすぎにも影響を受けやすいので注意が必要です。下痢や熱中症による脱水などで血圧が大きく下がると急激に腎機能が悪化することがあります。

糖尿病や脂質異常症など動脈硬化を起こす生活習慣病の合併がある場合は、同時にしっかり治療を受けましょう。

CKD の降圧目標		75 歳未満		75 歳以上	
		診察室血圧	家庭血圧	診察室血圧	家庭血圧
蛋白尿なし	糖尿病なし	140/90 未満	135/85 未満	150/90 未満	145/85 未満
	糖尿病あり	130/80 未満	125/75 未満		
蛋白尿あり		130/80 未満	125/75 未満		

【腎機能の悪化を抑えたい！生活習慣での注意は？】

食事療法その1：減塩は比較的取り組みやすく、すべてのステージの患者さんにおすすめです。塩・味噌・醤油など塩分の多い調味料を控え、食塩を含まない香辛料（ワサビ、カレー粉、唐辛子、レモン、こしょうなど）やだしとうまみを生かした薄味の食事を工夫しましょう。

食事療法その2：サプリメントも含めて絶対的に良い食べ物や悪い食べ物はありますが、食事内容が偏ると特定の成分が多すぎたり少なすぎたりすることがあります。腎機能が維持されている場合には、多すぎる成分は腎臓が調整して尿に捨ててくれるので、体液の成分は一定に保たれます。しかし腎機能が低下すると調整できる範囲が狭くなるため、たんぱく質・カリウム・食塩・エネルギーなどのバランスをとった食事療法が必要です。CKDの進行に合わせた患者さんごとの適量がありますので、腎機能の悪い方は医師や管理栄養士に相談しましょう。

適正体重を維持・運動の習慣を

禁煙・節酒

自宅での血圧を測定し記録を

【生活と折り合いをつけて長く上手に付き合ひましょう】

慢性疾患だからこそ初期の診断が大切です。明るく前向きにCKDと向き合ひましょう。

ご挨拶

森川クリニック 院長 岡田 久



この度、令和7年4月1日に森川クリニックの院長交代にて院長に就任した岡田久です。森川建基名誉院とともに診療継続していくこととなり、院長交代以来、引き続き多くの皆様から温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。この場を借りまして、御挨拶と私の院長就任までの軌跡について紹介させていただきます。

当クリニックは、前身の田所クリニックから、てんかん診療を行っています。私は、てんかん専門医取得のため、日本でてんかん学会認定研修施設である当施設で森川先生にお世話になり、名古屋医療センターでも長らく、てんかん診療に携わっており、さらに遡ると、名古屋医療センター勤務以前に、SL医療グループ関連の栄にあったセントラル病院で研修したことがありましたので、森川先生からお誘いがあったときには、よろこんでお受けし、令和6年4月1日より森川クリニック勤務となりました。

私は生まれも育ちも名古屋で、生まれたのは名古屋医療センターの前身の国立名古屋病院です。伯父が国立名古屋病院薬剤部長を勤めていたので、子供のころから薬剤部長室をよく訪れた想い出がありますが、その名古屋医療センターも昨年末には分娩停止となり、少子化の流れを実感しているところです。

名古屋市立菊里高校を卒業するころ、進路についていろいろ選択肢を考えましたが、そのころ、脳梁離断分離脳のスペリーの研究によって、脳機能の局在が明らかになってきたことで、脳科学や脳機能を仮想的に実現するAIに興味を持ち、名古屋工業大学情報工学科で一年学びました。まだパソコンが世にでる前で、一年時にはミニコンを使ったアセンブラという基礎的なプログラミング言語の実習があり、そのころのコンピュータの構造や機能では、AIを実用化するにはまだまだほど遠いと思いました。それが今ではAIの時代となり、技術の進歩は隔世の感があります。名古屋工業大学を退学したあとは、名古屋大学医学部に入学し、卒業後は脳機能に迫れそうな放射線科を志望して、最新の機器をそろえて新病院になった小牧市民病院で研修をしていたところ、内科ローテーション中に、そこで行われていた経験的な診断・治療について、文献などに基づいたエビデンスによって診療を問い直す内科医が赴任してきました。その先生は今のさかもと内科腎クリニックの前身である鈴木内科の鈴木義充先生だったので

すが、鈴木先生の影響をうけて、内科診療の理論的な面に興味を持ち、研修が終わる直前に、内科志望に転向すると小牧市民病院に残れるかも、と根拠のないことをいう別の内科の先生の言葉に背中を押されて志望転向したものの、実際に内科枠は余分はなく、結局、鈴木義充先生から、SL医療グループ関連の栄にあったセントラル病院を紹介してもらった次第です。そのセントラル病院での一年間の診療経験は貴重で、SL医療グループの先生方が教育にきていただいており、大変勉強になりました。大学の医局は、脳科学への興味に立ち戻って、神経内科に入局し、昭和61年に、今はリハビリテーション病院になった、愛知県済生会病院に赴任し、2年間脳神経内科全般の診療をしました。当時の院長から、診療が終わったら、勤務時間に関係なく、研究はどこで何やってもいいと言われ、小牧市民病院に診療に来ていた脳神経内科の先生を頼って名古屋大学環境医学研究所を訪れ、睡眠時の交感神経活動変化についての研究テーマをもらいました。平成元年には、国立名古屋病院に異動となり、脳卒中・てんかんの専門的な診療部門に所属し、環境医学研究所での睡眠研究も続けました。平成4年に大学に戻るときには睡眠研究も成果があがっていたため、平成5年9月に、国立名古屋病院での臨床にもどることになり、その時の目標は脳卒中・てんかん診療を充実させ、睡眠については睡眠診療を始めるということでした。脳卒中については、脳外科とともに脳卒中センターの形をととのえることができ、睡眠診療については、2008年に睡眠学会海外研修制度でNew York大学を中心とした医療施設で6週間研修をして、2009年7月から睡眠診療を開始することができました。てんかん診療については、国立名古屋病院の時代の1977年1月から武田明夫先生がてんかん診療を開始されておりますが、2016年にてんかん外科医の赴任があり、森川先生の御支援もあり、2017年10月には、てんかん学会認定研修施設に認定され、いずれの目標も達成できたものと自負しております。

以上でSL医療グループにふたたび不思議な力で引き寄せられて森川クリニック勤務となった経緯について、御挨拶をかねて自己紹介させていただきましたが、森川クリニックでは引き続き、患者さんに安心していただける診療を継続していきますので、今後ともよろしくお願いしたいと思います。

HPV ワクチンキャッチアップ接種狂騒曲

すぎやまレディスクリニック 院長 杉山正子

何回目かの「これが最後ですよ」宣言の HPV ワクチンキャッチアップ接種が本当の終わりに近付こうとしています。

2010 年に始まった子宮頸がん予防のための HPV ワクチン接種事業では、3 年間で 12 歳～16 歳の対象年齢女性の 70% が接種を受けました。世界でもトップクラスの接種率でした。しかし、2013 年国の積極的勧奨は、重大な副反応の報告のため突然打ち切られます。空白の 9 年間の始まりでした。

いつの時代もどんなワクチンも、その有効性と副反応について賛否が分かれ論争が絶えません。日本のように医療へのアクセスが良く、すみやかに希望する医療機関で希望する医療が受けられる環境では、ワクチンで予防しなくても病気にかかってから治療すればよいという慢心があり、ワクチン接種へのモチベーションが低下しがちです。接種したら一定の割合で副反応が起こるワクチンなどともでないと考える人もいます。ワクチンは確かに 100% 安全なものではなく、不幸にも命を落とす方もありますし、後遺症が残る方もあります。だからこそ、私たちはワクチン接種における不測の事態に備える対応をたくさん学び実践してきました。AED や人工呼吸器の設置、救命センターとの連携、マンパワーの確保、接種後の十分な安静と観察、等々。不幸にも起こってしまった不測の事態に関してはその情報を精査し共有して次への教訓としてきました。

コロナのパンデミックは私たちにワクチンの重要性を再認識させてくれました。コロナのワクチンを経験したことで HPV ワクチンが受け入れられやすくなったように思います。16 年前初期の定期接種では、筋肉注射によるワクチン接種が初めての上に、痛みが強かったのも確かです。強い痛みは、一部の方には痛みに対する反応が全身症状となって現れ、四肢の痺れや麻痺・記憶力や意欲の低下といった症状を引き起こします。複合性局所疼痛症候群と呼ばれる症状で外傷や痛みを伴う病気の時にも見られるものです。当時、他のワクチンと同様接種後の鎮痛剤の使用には積極的ではなかったため、より痛みを強く感じたかもしれません。多感で感受性の強い思春期の女性が対象であったことも不安を強くした可能性があります。

この 9 年間に多くの研究がなされ、論争があり、国や個人に向けた訴訟があり、加えて副反応に苦しむ方たちへの治療と支援と救済が行われました。新しいワクチンの開発も進みました。結論が出たものも出ないものもありますが、以下のようなことが共有された認識であると考えます。

- ・副反応としての種々の症状は複合性局所疼痛症候群のように他の原因でも起こりうるもので HPV ワクチンに特有のものではない。
- ・ワクチン接種後の痛みや発熱は、積極的に鎮痛解熱剤を使用する。
- ・副反応・後遺症に関しては各地域に専門の医療機関を設け、積極的に対応に当たる。実際愛知県では大学病院や総合病院で 11 施設に対応していたいただき適切な治療を速やかに行っていたと思います。
- ・「名古屋スタディ」と呼ばれる、名古屋市立大学公衆

衛生学の鈴木貞夫教授の研究では、ワクチン接種者と同年代の非接種者を比較して、副反応とされる症状の発症率に差がなかったとされており、ワクチン以外の原因でも起こる症状である。

一方、この空白の 9 年間にワクチン接種を積極的に進めてきた国からは、子宮頸癌の発症率の低下や前癌病変の減少が報告されており、日本は先進 7 か国の中でダントツに高い発症率となっていました。WHO は「対象年齢の 90% がワクチン接種を受け、70% が適切な検診を受け、必要な人の 90% が適切な医療を受けることで子宮頸癌を撲滅できる」という数値目標を掲げ、加えて HPV ワクチンの安全性を強調しています。

以上の経過の後、2021 年に国は再び積極的勧奨を表明し、定期接種に加えて、9 年間に接種の機会を逃した世代（1997 年 4 月～2008 年 3 月生まれ）も無料でワクチン接種を行う方針としました。これをキャッチアップ接種と呼び、当初の予定では 2022 年 4 月～2024 年 9 月を初回接種期間と定めました。ワクチンの供給が不足した事態もあり、2025 年 3 月までに延長され、さらに 2 回目以降の接種に限って 2026 年 3 月までに延長されて現在に至ります。

さてこのキャッチアップ接種でどのくらいの方が接種されたのでしょうか。厚労省のホームページでは 2024 年 9 月までのデータしか報告されていませんが、13 年前に 70% が接種した世代（25 歳～27 歳）では今回 14% 増えて 84%、その他の世代（17 歳～24 歳）では 35%、全体の平均では 49.5% の接種率となっています。2024 年 12 月の JAMDAS（日本臨床実態調査）のデータでは、70% 接種世代が 86.6%、その他の世代が 43.9% と延長期間前半で特にその他の世代の増加がみられています。様々な理由で接種機会を逃してしまった方が、延長宣言に背中を押されて駆け込み接種を受けた可能性があります。この勢いですと、最終的には 70% 世代が 90% に、その他の世代が 50% に到達するのではないかと期待しています。もう一つの明るい話題は 2008 年度生まれの 16 歳世代がこれまでに 57.1% の接種率を記録したことです。定期接種最後の年齢であり、2026 年度からはキャッチアップ事業はありませんから、今後接種を希望した場合 9 万円～10 万円の自己負担となり、切実な問題でした。

当院でも多くの若い方たちが接種を受けられましたが、ほとんどの方は怖がらず痛がらず堂々と受けていきました。接種後失神したり、筋膜炎を発症した方もおりましたが、前述した専門協力機関のサポートを受けて大事に至らず回復されました。この間当院では休日に薬品保管庫の電源が切れて、貴重なワクチン 6 本を廃棄するという事態があり、社会的責任として大きな反省点です。経済的損失として痛みを伴いました。これが狂騒曲と名付けた標題の所以です。

キャッチアップ接種は 2026 年 3 月で終了しますが、12 歳～16 歳の定期接種は続きます。不安があったら少し上の世代の方に聞いてみてください。二人にひとり接種を受けていて、「大したことはなかったよ」と答えてくれると思います。お知らせが届いたら忘れないで接種を受けてください。

エスエル医療グループ 2025年夏期休診一覧

印のない場合は通常通りとなります。通常休診、午後休診などにご注意下さい。

×印…休診 △印…午後休診

階	2025年8月	11 (祝)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	備考・その他の休診
9	たまい眼科はのぼのクリニック	×	×	×	×	×	×	
	関谷耳鼻咽喉科	×	×	×	×	×	×	8/7(木)～8/9(土) 院長不在、夕診なし
8	森川クリニック	×	×	×	×	×	△	
	はっとり整形外科リウマチクリニック	×		×	×	×	×	
	どい眼科クリニック	×		×	×	×	×	
	おいわ消化器クリニック	×		×	×	×	×	
7	セントラル皮膚科	×		×	×	×	×	
	すずき呼吸器クリニック	×	×	×	×	×	△	
	金子内科	×	×	×	×	×	△	
	つじ泌尿器科クリニック	×		×	×	×	×	
	服部内科クリニック	×	×	×	×	×	△	
	こんどう女性クリニック	×		×	×	×	△	
6	仲尾歯科	×		×	×	×	△	
	古井脳神経外科	×		×	×	×	△	
	亀井内科・呼吸器科	×		×	×	×	×	
	さかもと内科腎クリニック	×		×	×	×	×	
	やまうち消化器内科クリニック	×	×	×	×	×	×	
5	古澤整形外科	×		×	×	×	×	
	中川内科	×	×	×	×	×	△	
	栄かとうクリニック	×	×	×	×	×	△	
	恒川内科	×	×	×	×	×	×	
	おおの内科	×		×	×	×	△	
	山川内科	×		×	×	×	×	
	岡神経科	×		×	×	×	△	
4	はまだ代謝内科	×		×	×	×	×	
	栄内科	×	△	×	×	×	×	
	S L 外科・乳腺クリニック	×		×	×	×	△	
3	すぎやまレディースクリニック	×		×	×	×	△	
	吉田内科	×	×	×	×	×	△	
	セントラル小児科	×		×	×	×	△	
	岩瀬内科・消化器内科	×	×	×	×	×	×	
	渡辺クリニック	×	×	×	×	×	△	
	磯部内科クリニック	×	×	×	×	×	×	
	第一歯科医院	×		×	×	×		

栄（SL 医療グループ）近辺 - 48

活字（文章）中毒

現活字中毒とは、暇な時間があると、何か文章を読んでいないと落ち着かない状態です。このような中毒症状は、すでに中学校1年からはじまっていました。きっかけは、母が文学少女で、若い頃から小説を読み漁っており、この影響が大きかったようです。

中2の時、母が読んでいた「チャタレー夫人」と言う小説をコッソリ読んでいたら、「あなたには早すぎる」と、取り上げられてしまいました。そうなると思わず読みたくなり、コッソリ読んでいたのですが、当時は大人の恋愛などという心の機微は全く分からず、途中で詠むのを止めてしまいました。

その頃夢中になって読んだのが、パールバックという女性作家が書いた「大地」という長編小説で、貧しい中国の3人兄弟が成長していく過程がとても面白い内容でした。その後高校生になって「チャタレー夫人」を読み直したら、恋愛描写などもかなり理解できて、大人はこんな本が好きだと、なんとなく分かってきて、本の世界にはまっていきました。

今でも運動をしていない時間は、ほぼすべて読書に費やしています。「自分以外の人生を、小説の中で経験する」楽しみは、やはり中毒症状のようで、やめられません。

森川クリニック 森川 建基



エスエル医療グループ

<http://www.sl-medical.gr.jp>

栄・中日ビル北斜向い
中区新栄町1-3 ☎951-3833

すぎやまレディスクリニック

院長 杉山 正子 ☎971-0930

吉田内科

院長 吉田 修 ☎951-0321

セントラル小児科

院長 森 孝生 ☎971-6237

岩瀬内科・消化器内科

院長 岩瀬 弘明 ☎951-1255

渡辺クリニック

院長 渡辺 正樹 ☎955-5060

磯部内科クリニック

院長 磯部 智 ☎971-0515

第一歯科医院

院長 高木 昭英 ☎951-1355

SL外科・乳腺クリニック

院長 伊藤 由加志 ☎971-6269

栄内科

院長 山田 琢之 ☎955-8020

はまだ代謝内科

院長 濱田 洋司 ☎957-3701

古澤整形外科

院長 古澤 久俊 ☎954-0335

中川内科

院長 中川 順市 ☎951-7532

栄かとうクリニック

院長 加藤 泰久 ☎961-3001

恒川内科

院長 恒川 誠 ☎951-1265

おのおの内科

院長 大野 秀樹 ☎971-0950

山川内科

院長 清水 周哉 ☎951-1211

岡神経科

院長 岡 潔 ☎955-1606

仲尾歯科 栄診療所

院長 仲尾 泰彦 ☎963-4182

古井脳神経外科

院長 古井 倫士 ☎951-2223

亀井内科・呼吸器科

院長 亀井 三博 ☎951-2577

さかもと内科腎クリニック

院長 坂本 いずみ ☎961-2061

やまうち消化器内科クリニック

院長 山内 学 ☎957-2488

セントラル皮膚科

院長 坪根 幹夫 ☎973-0495

すずき呼吸器クリニック

院長 鈴木 清 ☎265-7250

金子内科

院長 金子 晴生 ☎971-5801

つじ泌尿器科クリニック

院長 辻 克和 ☎951-2212

こんどう女性クリニック

院長 近藤 育代 ☎951-0500

服部内科クリニック

院長 服部 正樹 ☎962-8500

森川クリニック

院長 岡田 久 ☎961-1709

はっとり整形外科リウマチクリニック

院長 服部 陽介 ☎228-1901

どい眼科クリニック

院長 土井 浩史 ☎211-9577

おいわ消化器クリニック

院長 大岩 哲哉 ☎959-5560

たまい眼科ほのほのクリニック

院長 玉井 浩子 ☎955-8090

関谷耳鼻咽喉科

院長 関谷 健一 ☎951-7799

サカエきこえの相談室

☎961-4133